

# 配付物一覧(中百舌鳥キャンパス)



すべて入っているか  
必ず確認してください！

- 2026年度 1年次生用ガイダンス資料
- 化学工学科パンフレット
- 化学工学科1年次連絡先調査・アンケート
- 2026年度 新入生ナビ プラス
- 白時間割
- (希望者)教職課程について

# 工学部

## 新入生カリキュラムオリエンテーション

1. 学生システムの利用について
2. 履修について
3. 学生生活について
4. 今後のスケジュールについて
5. 入学時アンケート
6. 履修登録方法の説明
7. 写真撮影・アンケートの回収

オリエンテーションの最後に  
各自で履修登録をしてもらいます

履修登録方法をマスターしてください

# 1 学内システムの利用について

# 1. 学内システムの利用開始手続き

- ❖ 本学では、学内の各種システムへログインするために全学認証システムを導入しています。
- ❖ 新入生ナビの【B-f】[学籍番号の確認と大学での情報サービス利用について【必須】](#)に詳細が載っていますので、まだ利用開始手続きを済ませていない方は、早めに完了するようにしてください。

【注意】利用開始手続きを完了していないと、履修登録ができませんのでご注意ください。

利用開始手続きや各種サービスを利用する中で、不明点やトラブルが生じた場合は[こちら](#)を参照してください。

# 2. OMUメールの確認

**【重要】**

履修登録等を行うためのシステム(UNIPA)や、遠隔授業を受講するための授業支援システム(Moodle)等の利用には、OMUメールが必須です。

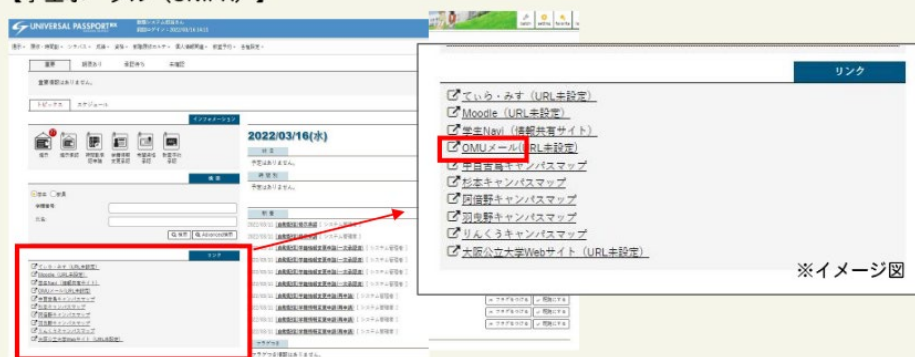
- OMUメールは、学生ポータル(UNIPA)にショートカットがあります。
- アプリでの設定もできますので、[マニュアル等](#)を確認のうえ、各自で設定してください。

メールアドレスは

**OMUID@st.omu.ac.jp** です。

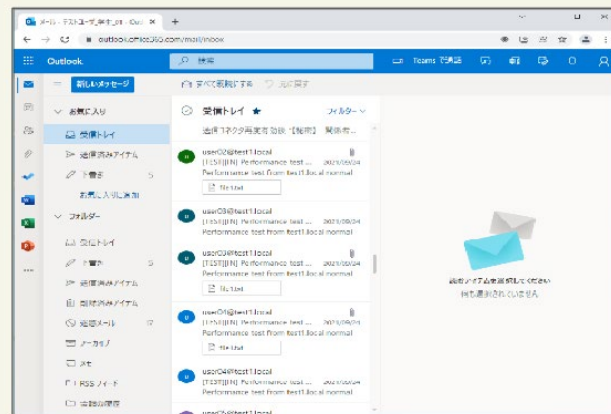
履修登録前に、OMUメールが使用できる状態になっているかを必ず確認しておいてください。

【学生ポータル (UNIPA)】



※イメージ図

【OMUメール】



## 2 履修について

# 履修登録や授業で使用するシステム

新入生ナビより [D.入学前オリエンテーション](#) > [e.システム関係](#) も参照ください。

## ●学生Navi

授業・履修に必要な情報に加え、学生生活を送るうえで必要な情報が格納されています。

履修登録関係では、履修登録の手引き、工学部要覧等の要覧、時間割表が参照できます。

## ●UNIPA(掲示確認や履修登録ができる学生ポータル)

このポータルより履修登録を行います。授業についての連絡掲示や、シラバス・成績照会などの機能があります。

## ●Moodle(授業支援システム)

教材・資料のダウンロード、レポート課題等の提出ができる、授業支援システムです。

## 各学科の履修モデル時間割

**2026年度 化学工学科 ガイダンス資料  
を説明します**

オリエンテーションの最後に  
各自で履修登録をしてもらいます

履修登録方法をマスターして帰ってください

# 1. 今後の予定

日時	内容	説明等
4月2日(木)9時～4日(土)17時	履修登録期間	履修要覧および授業時間割、履修登録の手引きを確認の上、漏れのないように履修登録を行ってください。最新版の授業時間割は学生Naviに格納されていますので併せて確認してください。
4月2日(木)9時～4日(土)12時	学生情報登録期間	UNIPAから現在登録されている学生情報を確認してください。詳細は <a href="#">こちら</a> 。変更がある場合は、必ずこの期間中に変更してください。
4月6日(月)	入学式	入学式の詳細は <a href="#">こちら</a> からご確認ください。 入学式の出席事前登録が必要です。
4月8日(水)	学生証交付・健康診断	学生証交付・健康診断の詳細は <a href="#">こちら</a> からご確認ください。 森之宮キャンパスで実施します。
4月9日(木)	授業開始	履修登録修正期間中に追加しようと思っている授業がある場合は、未登録の状態でも1回目の授業に出席してください。出席していない場合は欠席扱いとなります。
4月9日(木)9時～16日(木)17時	履修登録修正期間	履修登録が正常に完了しているか確認し、出来ていない場合は修正等をして再度登録してください。確認漏れ等で、履修登録が正常に完了していなかったとしても、修正期間を過ぎてしまうと修正登録は一切できませんので注意してください。
4月23日(木)9時～	履修登録最終確認日	自身が登録した履修登録内容が確定します。必ず最終確認をしてください。

# 3 学生生活について

# 1.学籍情報の確認・変更について

- ❖ 住所、電話番号等の学籍情報は、大学から大切な連絡をする際に利用します。
- ❖ 新入生の学籍情報は、入学手続きサイトに入力された情報が登録されています。
- ❖ 入学手続き以降に学籍情報の変更が必要になった場合は、以下より手続きください（一人暮らしを始めたり、引っ越しされる等）。
- ❖ 登録手続きは、学生ポータルUNIPAより行います。  
新入生ナビの[【B-e】学生情報の確認・変更について](#)をご確認ください。

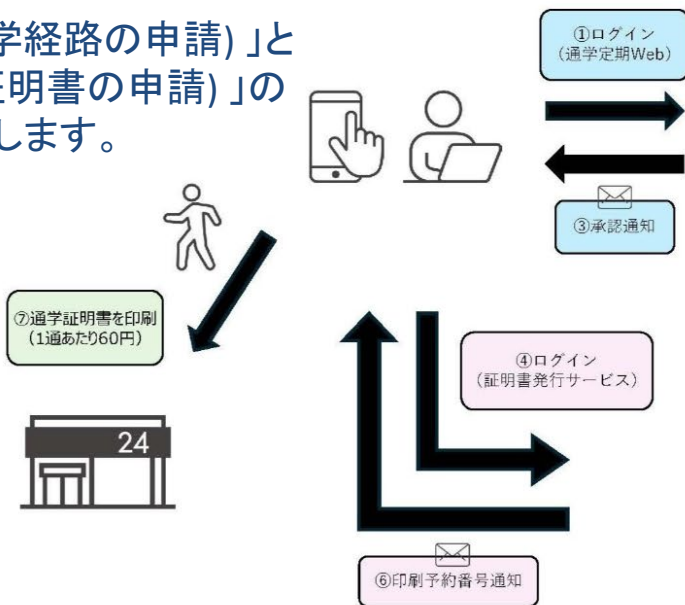
UNIPAについては、[こちら\(新入生ナビ e.システム関係\)](#)をご参照ください。

## 2. 通学証明書の発行

◆ 自宅住所・氏名・学籍番号・通学区間などをオンラインにて申請後、コンビニのマルチコピー機から印刷してください。

◆ 申請には「通学定期Web (通学経路の申請)」と「証明書発行サービス(通学証明書の申請)」の2種類のWebサービスを使用します。

「大阪公立大学 通学証明書の発行」で検索



通学定期Web




② 通学経路等申請

証明書発行サービス




⑤ 通学証明書の発行申請

### 3. 学生証(ICカード)の交付 ・ 健康診断

- ◆ 交付日：4月8日(水)学科ごとに時間帯が異なります!
- ◆ 交付場所：森之宮キャンパス 417教室
- ◆ 新入生ナビ【A-c】学生証交付および健康診断(学部・学域)【必須】  
より「2026年度春入学生\_学生証交付および健康診断(学部)」をご確認ください。
- ◆ 学生証の受領後、健康診断受診の流れとなります。

※ ICカードの学生証は、学術情報センターへの入退館や定期試験等で必要ですので、必ず受け取ってください。

**学内外問わず、必ずICカード学生証を携帯してください。**

## 4. 学生保険(学研災+付帯賠償)加入手続方法

- ◆学研災及び付帯賠償は、原則全員加入いただくこととしている保険となります。
- ◆加入手続き方法および保険料を確認のうえ、各自、加入手続きを行ってください。

⇒詳細は[こちら](#)

「大阪公立大学 新入生ナビ 学生保険」で検索

学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)に関する学内の問い合わせ先  
渉外企画課 付帯学総担当 TEL : 06-6967-1837

※加入や補償に関する問い合わせは取扱指定代理店までお願いします。

# 5. 大学アプリ「OMU+ (オーエムユープラス)」

「OMU+(オーエムユープラス)」は大阪公立大学公式アプリです。  
デジタル学生証や出席登録機能などを搭載した本学公式アプリを、を利用することにより、スマートフォンから本学のさまざまな情報をまとめて確認することができます。

ダウンロードはこちら

以下QRを読み取るか、アプリストアにて「大阪公立大学」又は「OMU+」で検索し、ダウンロードしてください。

for Android



for iOS



アプリ詳細はこちら⇒ [公式アプリOMU+ | 大阪公立大学 情報基盤センター](#)

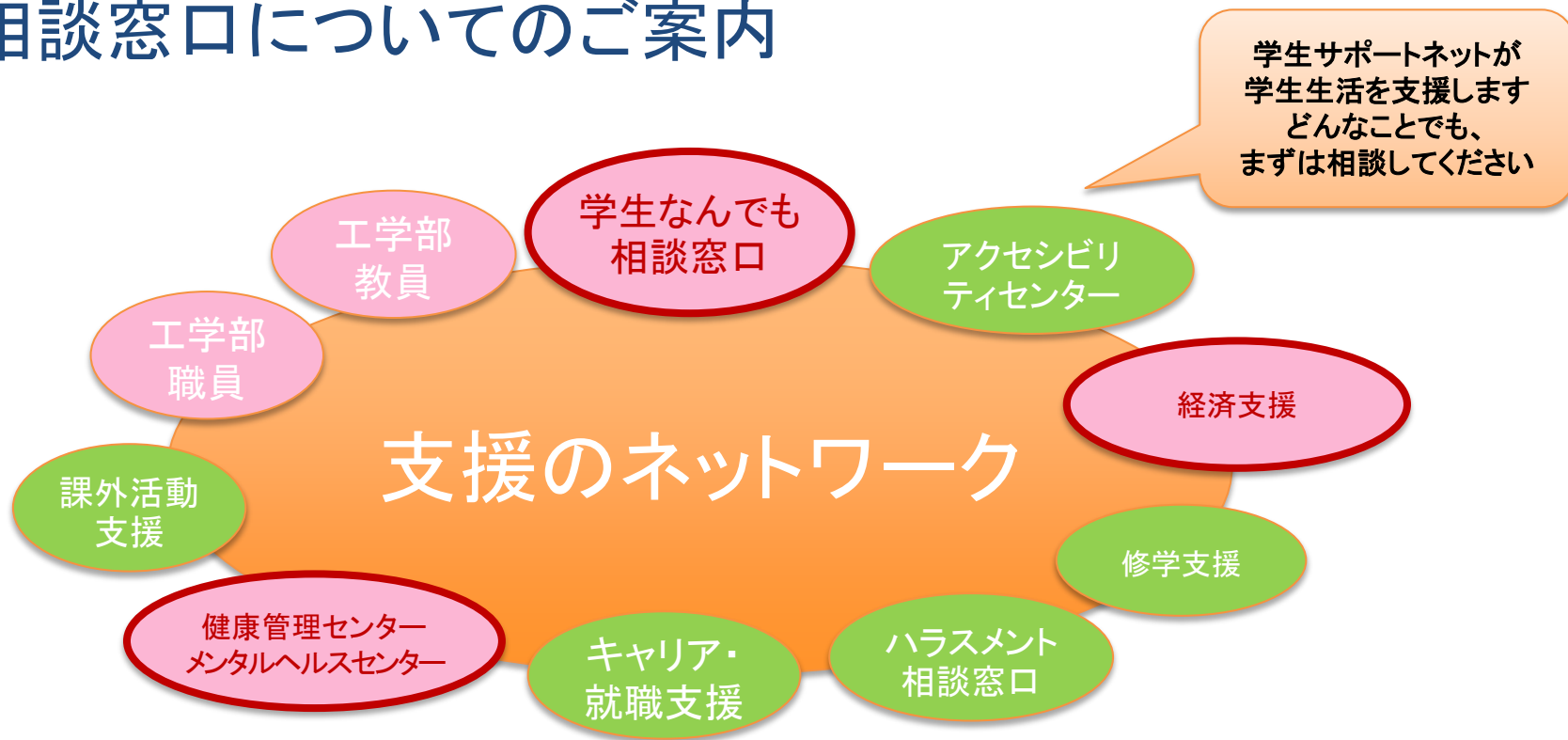
## 6 大学からの連絡について

大学からの連絡は、UNIPA掲示とOMUメールを使用します。  
緊急の連絡は、登録いただく携帯電話または自宅に電話します。  
以下の番号からの着信には可能な限り出てください。  
不在着信があった場合は、必ず折り返し連絡してください。

### <中百舌鳥キャンパス>

担当		電話番号	業務時間
工学部教務担当		7511	月～金 (祝日除く) 9:00 ～ 17:00
学生課	課外活動	072- 254- 8390	
	キャリア支援	(共通) 9119	
健康管理センター		9985	

## 7 相談窓口についてのご案内



※[学生生活ナビゲーション](#)、[相談窓口のご案内](#)も参照ください。

# 4 今後のスケジュール

# 1. 今後の予定

日時	内容	説明等
4月2日(木)9時～4日(土)17時	履修登録期間	履修要覧および授業時間割、履修登録の手引きを確認の上、漏れのないように履修登録を行ってください。最新版の授業時間割は学生Naviに格納されていますので併せて確認してください。
4月2日(木)9時～4日(土)12時	学生情報登録期間	UNIPAから現在登録されている学生情報を確認してください。詳細は新入生ナビにあります。変更がある場合は、必ずこの期間中に変更してください。
4月6日(月)	入学式	入学式の詳細は <a href="#">こちら</a> からご確認ください。 入学式の出席事前登録が必要です。
4月8日(水)	学生証交付・健康診断	学生証交付・健康診断の詳細は <a href="#">こちら</a> からご確認ください。 森之宮キャンパスで実施します。
4月9日(木)	授業開始	履修登録修正期間中に追加しようと思っている授業がある場合は、未登録の状態でも1回目の授業に出席してください。出席していない場合は欠席扱いとなります。
4月9日(木)9時～16日(木)17時	履修登録修正期間	履修登録が正常に完了しているか確認し、出来ていない場合は修正等をして再度登録してください。確認漏れ等で、履修登録が正常に完了していなかったとしても、修正期間を過ぎてしまうと修正登録は一切できませんので注意してください。
4月23日(木)9時～	履修登録最終確認日	自身が登録した履修登録内容が確定します。必ず最終確認をしてください。

## 2 履修登録期間中の相談窓口

### ●履修登録の相談

4月2日(木)、3日(金) 9:00～17:00

・工学部教務担当:メールを中心に対応します。

・化学工学科教員:

教務委員:仲村 英也

居室:B5棟3階3C-74室

内線電話:5762

直通電話:072-254-9451

E-mail:hideyanakamura@omu.ac.jp

### 3 情報サービス利用開始手続きで困ったら・・・

<対面での相談>

**4月2日(木) 17:00 まで**

中百舌鳥キャンパス C5棟図書館 1階ロビー

**！ 後回し厳禁！**

※森之宮キャンパスでも、サポート窓口を開設しています。

期間： 2026/3/26(木)～2026/4/6(月)AMの平日

時間： 10:00～15:00 ※4/2(木)のみ 10:00～17:00

場所： 4階 メイカーズスペース

<大阪公立大学 情報基盤センターのWebサイト>

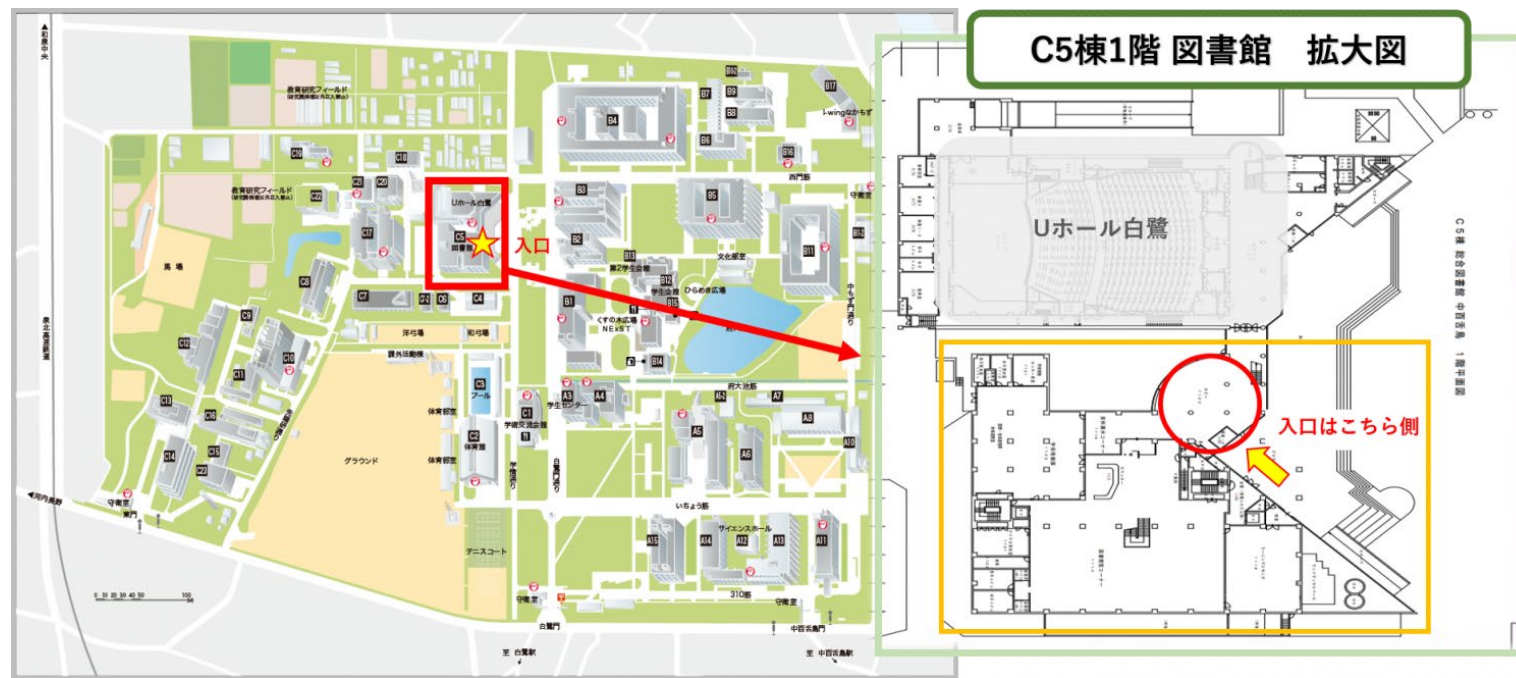
【[困ったときは](#)】を確認してください。

・FAQ(よくある質問)

・AIチャットボット

・お問い合わせフォーム

## <MAP> 中百舌鳥キャンパス C5棟図書館 1階ロビー



※ 情報基盤センターwebサイトに記載の「[困ったときは](#)」からも確認いただけます。

5 さいごに

アンケート

# 1. さいごに

- ❖ 新入生オリエンテーションでは紹介していない内容もありますので、改めて新入生ナビを確認の上、必要な手続き等を完了させてください。
- ❖ 不明点等がある場合には、学生デジタル窓口から問い合わせることも可能ですので、必要に応じて活用してください。

## 2. 入学時アンケートを回答してください(全学対象)

- ◆ 入学時アンケートを実施しますので、スマートフォン等からログインし、回答してください。  
(※学内システムの利用開始手続きが完了していないと、アンケートに回答できません)

2026年度 大阪公立大学 工学部  
入学時アンケート調査



### 2 配布した

「化学工学科 1年次 連絡先調査・アンケート」

も記入し、帰る前に提出してください

## 6 履修登録

UNIPAから履修登録を試みましょう

# 1 年次生用

## ガイダンス資料

(2026 年度)

4/22(水)の化学工学序論(水 4 コマ)に  
このガイダンス資料は必ず持って来てください

大阪公立大学

工学部

化学工学科

## I. 化学工学科の教育目的

豊かな教養を身に付け、高い倫理観を持って社会貢献を志し、化学工学に関連する基礎領域と専門領域を修得して、資源循環を総合的に含む化学プロセスの構築を目指した化学工学に関する諸問題を解決するため、循環型社会の要請に応え得る研究力・技術力を備えた化学技術者として国際的にも活躍できる人材を養成する。

## II. 化学工学科のディプロマ・ポリシー

工学部化学工学科では、化学工学科のカリキュラムに沿って、次の能力を身に付けたものに学士（工学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養を身に付けることより、化学工学に関する専門能力を備えた人材として社会において果たす役割を認識することができる。
2. 技術が社会に及ぼす影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を自覚し、高い倫理観をもって行動できる。
3. 日本語で、物質化学生命（物理学、化学、生命化学と工学が融合した幅広い学際領域）、特に化学工学の専門に関する文章を読み、書くことができ、科学的・論理的な議論ができる。
4. 英語による、論理的な記述力、口頭発表力、討議などの国際的コミュニケーション能力を高め、異文化との交流を行う対話および表現ができる。
5. 物質化学生命、特に化学工学に関する専門知識を生涯わたって自主的、継続的に、計画的に学習することができる。また、学習したことを使って課題の解決方法を期限までに提示できる。
6. インターネットなどを用いて物質化学生命の専門に関する情報を収集・分析し、その価値判断をすることができる。
7. 化学工学に関する専門知識を利用することより、対象とする事柄について工学的手法を用いて分析することができる。
8. 化学工学に関する専門知識を利用することより、循環型社会の様々な問題を解決するための創造能力を身につけている。

### Ⅲ. 化学工学科のカリキュラム・ポリシー

工学部化学工学科における教育課程の編制方針については、以下のように定める。

1. 「化学工学科のディプロマ・ポリシー」の達成を目的として、教育課程の編成を行う。
2. 工学の基礎に根ざした学問の系統性と順次性を尊重して、基幹教育科目及び専門科目により構成される整合性・一貫性を持つ体系化された教育課程を編成する。
3. 基幹教育科目の履修により、教養豊かな人間性を涵養し、幅広い学修成果を身に付けさせる。基礎教育科目の履修により工学を学ぶために必要な、自然科学全般についての基盤的知識を修得させるとともに、生涯にわたる学びの基礎を築く。専門科目の中でも、特に物質化学生命において必要とされ、分野横断的に基礎的な教育を行う科目を学科基盤科目(化学工学序論、物理化学序論、無機化学序論)として設け、物質化学生命の専門に関する文章を読解、記述することができ、科学的・論理的な議論をする基盤の醸成を目指す。
4. 1年次では、学生の幅広い学修を保証し、豊かな教養を身に付けさせるため、基幹教育科目(例えば、外国語科目、情報科目など)を中心に配当する。同時に、4年間の学士課程教育の基礎を構築し、化学工学の専門科目の工学的手法を理解するため、基礎教育科目(例えば、微積分 1A、2、線形代数 1、2A、基礎力学 B 1、基礎無機・物理化学、基礎化学実験、基礎物理学実験 1C など)を適切に配当する。また、1年次前期に「化学工学序論(必修)」を配当し、化学工学の最先端研究を紹介するとともに、化学工学の概要を理解させ、今後の勉学に対する目的意識を高める。
5. 2年次では、初年次の基幹教育科目を中心とする教育で得られた基礎的で幅広い学修成果を、3年次以降の学科専門科目履修に繋げることを目的として、専門学科の導入と学生の創造能力の育成を目的として、「ケミカルエンジニアリングプラクティス」を2年次前期に開講する。また、基礎教育科目(例えば、常微分方程式、応用数学など)と化学工学科の基礎的な専門科目(例えば、化学工学量論、化学工学熱力学、化工物理化学、化工有機化学、化工分析化学など)を中心に配当する。さらに、物質化学生命で学ぶ学問分野全般を俯瞰する視点を獲得し、3年次以降に学習する専門科目への接続を円滑にするため、2年次には入門的な学科専門科目(例えば、反応工学 1、拡散分離工学 1、移動速度論 1 など)とその演習科目(化学工学演習 1)を適切に配当する。これらの基礎教育科目と専門科目を通して、化学工学の専門に関する文章を読解、記述することができ、科学的・論理的な議論ができるとともに、化学工学の専門知識を利用し、様々な化学工学の対象に対して工学的手法を用いて分析できる力を養う。
6. 3年次に、技術者・研究者としての倫理観を涵養するため「工学倫理(必修)」を配当する。3年次以降では、化学工学科の専門科目(例えば、粉体工学 1、プロセスシステム工学、プロセス設計、移動速度論 2 など)を中心に配当し、実験(化学工学実験 1、2)・実習(工学部インターンシップ)・演習(化学工学演習 2)などを通して、特に化学工学に関する問題解決に応用できる能力、すなわち化学工学の専門や関連する専門分野の文章を読解、記述でき、科学的・論理的な考察・議論・検

証を行い、これらの専門知識を利用し、工学的手法により問題を解決する手段を的確に選択、実践し、評価する力を育成する。また、「化学工学特殊講義」を開講し、化学工業の現状や化学工学という学問分野の最先端と課題に触れることにより、最先端の知識と製品の開発手法から問題解決能力の実践方法を習得させる。

7. 4年次には卒業研究を必修とし、化学工学における最先端の研究テーマを設定して学生の研究意欲を高め、系統的な研究指導により基礎的な研究能力を育成する。卒業研究を通して、図書館、学会、学術雑誌、インターネットなどを駆使し、物質化学生命、特に化学工学の専門に関する情報を収集・分析し、その価値判断を行い、1から3年次に学んだ専門知識や工学的手法を駆使して研究テーマにおける問題解決を行い、工学研究としてまとめる手法を実践させる。卒業研究履修には履修資格を設ける。また、「化学工学英語演習」を開講し、英語による、論理的な記述力、口頭発表力、討議などの国際的コミュニケーション能力と、専門に関する英文の専門書や学術論文等を速く、正確に読解できる能力を習得させる。

## IV. 化学工学科の標準履修モデル

### 履修モデル（化学工学科）

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
基礎 教育 科目	総合教養科目	12	University English 3A	2					29
	初年次ゼミナール	1	University English 3B	2					
	情報リテラシー	2							
	University English 1A	2							
	University English 1B	2							
	University English 2A	2							
	University English 2B	2							
	健康・スポーツ科学概論	2							
	小計 (8科目)	25	小計 (2科目)	4	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)	0	
	基礎 教育 科目	微積分1A	2	常微分方程式	2				
微積分2		2	応用数学	2					
線形代数1		2	基礎電磁気学C	2					
線形代数2A		2							
基礎力学B1		2							
基礎物理学実験1C		2							
基礎無機・物理化学		2							
基礎有機化学		2							
基礎化学実験		2							
情報システム概論		2							
小計 (10科目)	20	小計 (3科目)	6	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)	0		
専 門 科 目	科学部 共通		プログラミング基礎	2	工学倫理	2			6
		0		2	エンジニアのためのキャリアデザイン/経営論	2			
小計 (0科目)	0	小計 (1科目)	2	小計 (2科目)	4	小計 (0科目)	0		
科 学 科 基 盤	化学工学序論	2	無機化学序論	2					6
	物理化学序論	2							
小計 (2科目)	4	小計 (1科目)	2	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)	0		
A 群 科 目			ケミカルエンジニアリングプラクティス	1	化学工学実験1	4	化学工学卒業研究A	3	55
			化学工学量論	2	化学工学実験2	4	化学工学卒業研究B	3	
			移動速度論1	2	移動速度論2	2			
			化学工学熱力学	2	移動速度論3	2			
			拡散分離工学1	2	拡散分離工学2	2			
			反応工学1	2	反応工学2	2			
			化工物理化学	2	生物化学工学	2			
			化工有機化学	2	粉体工学1	2			
			化工分析化学	2	粉体工学2	2			
					プロセス制御工学	2			
					プロセスシステム工学	2			
					化学装置設計	2			
					プロセス設計	2			
					化学工学特殊講義	2			
小計 (0科目)	0	小計 (9科目)	17	小計 (14科目)	32	小計 (2科目)	6		
B 群 科 目			化学工学数学演習	1	化学工学演習2	1			3
			化学工学演習1	1					
小計 (0科目)	0	小計 (2科目)	2	小計 (1科目)	1	小計 (0科目)	0		
C 群 科 目								0	
	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)	0	小計 (0科目)		0
合計	20科目	49	18科目	33	17科目	37	2科目	6	125

(注) 科目名欄の下線は必修科目を示す。



## VI. ガイダンス資料

### 1. 卒業研究履修資格（4年次進級要件） （工学部要覧 p. 20）

化学工 学科 卒業研究 履修資格	①基幹教育科目（基礎教育科目を除く） ・卒業資格要件の29単位のうち27単位以上 ②基礎教育科目 ・必修の実験科目（基礎物理学実験1B、基礎化学実験）計4単位 ・必修の実験科目を除く基礎教育科目のうち必修科目16単位中14単位以上、選択科目2単位以上 ③専門科目 ・必修の実験科目（化学工学実験1・2、ケミカルエンジニアリングプラクティス）計9単位 ・必修の実験科目を除く必修の専門科目28単位中24単位以上	100単位 以上
---------------------------	---	-------------

卒業研究履修資格を満たさないときは、4年次に進級できません。

### 2. 卒業資格所要単位 （工学部要覧 p. 21）

科 目			単 位 数		
基 幹 教 育 科 目	総合教養科目		6 単位以上	29 単位 以上	125 単位 以上
	ゼミナ ル科目	プロジェクト			
		高年次ゼミナール			
		初年次ゼミナール	1 単位		
	情報科目		2 単位以上		
	外国語科目	英語	12 単位以上		
		初修外国語	指定なし		
	健康・スポーツ科学科目		2 単位以上		
その他選択科目		6 単位以上			
基礎教育科目		必修 20 単位 選択 4 単位以上	24 単位 以上 <sup>a</sup>		
専 門 科 目	学部共通科目		必修 4 単位	72 単位 以上 <sup>b</sup>	96 単位 以上
	学科基盤科目		必修 6 単位		
	学科専門科目	A 群	必修 33 単位 選択 14 単位以上		
		B 群	選択 3 単位以上		
		C 群	指定なし		

注 a 必要単位数を超えて修得した基礎教育科目を4単位まで含めることができる。（工学部要覧 p. 62）

注 a C群科目に指定する選択科目を6単位まで含めることができる。（工学部要覧 p. 62）

25. 基幹教育科目 標準履修課程表（基礎教育科目を除く）

科目区分	科目名	配当年度次及び								週時間数	卒業要件	備考				
		単位数 < ○ 印 必修 >		第1年次		第2年次		第3年次					第4年次			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
基 幹 教 育 科 目	総合教養科目										-	科目群中より履修を指定する単位数を満たしたうえで、合計29単位以上を修得すること。				
	ゼミナール	プロジェクト											-	選択科目 6単位以上		
		高年次											-			
		ゼミナール						2					-			
		初年次											-			
	情報科目	情報リテラシー	①										2	必修科目 1単位		
		データエンジニアリング・AI基礎	2										2	選択科目 2単位以上		
	外 国 語 科 目	英 語	University English1A	②									2	必修科目 12単位		
			University English1B	②									2			
			University English2A		②								2			
			University English2B		②								2			
			University English3A			②	②						2			
			University English3B			②	②						2			
		(その他国際基幹教育機関開設科目要覧を参照)												-	履修単位数を 指定しない	
		初 修 外 国 語	(朝・中・露・独・仏) 入門1 <2>											2	履修単位数を 指定しない	週1コース対象
(朝・中・露・独・仏) 入門2 <2>											2	履修単位数を 指定しない	週1コース対象			
(その他国際基幹教育機関開設科目要覧を参照)												-	履修単位数を 指定しない			
健康・スポーツ 科学科目	健康・スポーツ科学概論	(2)	(2)								2	選択科目 2単位以上				
	健康・スポーツ科学演習	(2)	(2)								2					

【 注 意 事 項 】

- ※1 科目名称、配当期・配当年次は、変更されることがあるため、最新の時間割等を確認すること。
- ※2 (朝・中・露・独・仏) はそれぞれ 朝：朝鮮語 中：中国語 露：ロシア語 独：ドイツ語 仏：フランス語 を指している。
- ※3 英語以外の外国語科目(独・仏・中・露・朝)については、当該年度に1言語しか履修できないので注意すること。
- ※4 第一言語(母語)ではない初修外国語を入学以前に学習したことがある人は、入学前に申請して面接試験等に合格すれば、入門初級履修免除制度を利用して1年次から2年次科目を受講することができる。詳しくは国際基幹教育機関に問い合わせること。
- ※5 単位数が「( )」で囲まれている科目は、学科によって開講される学期が異なるので注意すること。

化学工学科 基礎教育科目 標準履修課程表

科目区分	科目名	配当年次及び単位数<○印必修>								週時間数	卒業要件	備考	
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次					
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎教育科目	微積分 1A	②								2	必修科目 20単位  選択科目 4単位以上		
	微積分 2		②							2			
	線形代数 1	②								2			
	線形代数 2A		②							2			
	常微分方程式			②						2			
	複素解析				2					2			
	ベクトル解析			2						2			
	応用数学				②					2			
	数値解析				2					2			
	確率統計				2					2			
	基礎力学 B1		②							2			
	基礎電磁気学 C			2						2			
	基礎量子力学 B				2					2			
	基礎統計力学				2					4			
	基礎物理学演習				2					2			
	基礎物理学実験 1C		②							4			
	基礎無機・物理化学 ②									2			
	基礎有機化学		2							2			
	基礎化学実験 ②									4			
	生物学 1	2								2			
生物学 2		2							2				
生物学実験 B		2							4				
地球学入門		2							2				
地球学実験 C		1							2				
情報システム概論		2							2				
データベースと情報検索				2					2				

【 注 意 事 項 】

※ 科目名称、配当期・配当年次は、変更されることがあるため、最新の時間割等を確認すること。

化学工学科 専門科目 標準履修課程表

科目区分	科目名	配当年次及び 単位数<○印必修>								週時間数	卒業要件	備考
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学部共通科目	工学倫理					②				2	必修科目 4単位	通年、CAP対象外
	エンジニアのためのキャリアデザイン/経営論					2				2		
	工学部インターンシップ					2				-		
学科科目	プログラミング基礎			②						2	必修科目 6単位	
	化学工学序論	②								2		
専門科目	物理化学序論		②							2	必修科目 33単位 選択科目 14単位以上	各科目群中より履修を指定する単位数を満たしたうえで(C群科目に指定する選択科目を6単位まで含めることができる。)、学科専門科目で合計72単位以上を修得すること。  ※上記72単位に、必要単位数を超えて修得した基礎教育科目を4単位まで含めることができる。
	無機化学序論			②						2		
	化学工学実験1					④				8		
	化学工学実験2						④			8		
	化学工学卒業研究A							③		-		
	化学工学卒業研究B								③	-		
	ケミカルエンジニアリングプラクティス			①						2		
	化学工学量論				②					2		
	移動速度論1				②					2		
	移動速度論2					②				2		
	移動速度論3						2			2		
	化学工学熱力学				②					2		
	拡散分離工学1				②					2		
	拡散分離工学2					2				2		
	反応工学1				②					2		
	反応工学2					2				2		
	生物化学工学						2			2		
	粉体工学1					②				2		
	粉体工学2						2			2		
	プロセス制御工学						2			2		
プロセスシステム工学						②			2			
化学装置設計							2		2			
プロセス設計							②		2			
化学工学特殊講義							2		-			
化工物理化学			2						2			
化工有機化学				2					2			
化工分析化学			2						2			
学科専門科目B群	化学工学数学演習				1					2	選択科目 3単位以上	
	化学工学演習1				1					2		
	化学工学演習2					1				2		
学科専門科目C群	化学工学英語演習							1		2	履修単位数を 指定しない	
	機械材料力学1					2				2		
	機器分析学						2			2		
	電気化学A							2		2		
	高分子化学1						2			2		
	固体物性1					2				2		
	構造材料科学							2		2		
	材料化学1						2			2		
	生物化学基礎							2		2		
バイオテクノロジー概論								2	2			
教職科目	分子生物学							2		2	卒業要件には 含まれない	教職、CAP対象外 教職、CAP対象外 教職、CAP対象外 教職、CAP対象外
	理科教育法1A			(2)	(2)					2		
	理科教育法1B			(2)	(2)					2		
	理科教育法2A			(2)	(2)					2		
	理科教育法2B			(2)	(2)					2		

【 注 意 事 項 】

- ※1 科目名称、配当年次・配当年次は、変更されることがあるため、最新の時間割等を確認すること。
- ※2 備考欄中「通年」は通年科目、「集中」は集中講義科目、「CAP対象外」はCAP制に含まれない科目であることを示す。
- ※3 備考欄中「教職」は教職科目であることを示す。教職科目は専門科目以外にも設置されている。
- ※4 単位数が「( )」で囲まれている教職科目は、開講年度により開講学期が異なる場合があるため特に時間割を確認すること。

## 総合教養科目

・1年次は「対面授業」を申請すること。(できるだけ第30希望まで申請すること。最大当選数は1～9科目の間で自由に設定。ただし、抽選に当選した科目は取消・変更できない。)

## ゼミナール科目

・初年次ゼミナールは全学必修科目。1年次に履修すること。プロジェクトと高年次ゼミナールは選択科目。(第1希望群に4クラス、第2希望群に6クラスを必ず申請すること。ただし、同じ希望群の中で、優先順位はつけられない。)

## 外国語科目

・英語は必修科目。配当年次に履修すること。初修外国語は週1コースの選択科目。(英語はクラス指定、初修外国語は「入門1」を抽選申請すること。)

## 情報科目(選択必修)

・「情報リテラシー」と「データエンジニアリング・AI基礎」から1科目以上を選択すること。(「情報リテラシー」はクラス指定、「データエンジニアリング・AI基礎」はCAP対象外科目。)

## 健康・スポーツ科学科目(選択必修)

・「概論」と「演習」から1科目以上を選択すること。(「概論」「演習」とともにクラス指定。)

## 基礎教育科目

・授業時間割表の化学工学科に記載されている科目(p.8)を履修すること。**必修と選択の違いを認識し、必修20単位、選択4単位以上を修得すること。なお、必要単位数を超えて修得した基礎教育科目を4単位まで、学科専門科目72単位に含めることができる。**

## 専門科目

・下記に示した各科目群(p.9)中より履修を指定する単位数を満たしたうえで、学科専門科目で合計72単位以上を修得すること。

- ・学部共通科目(工学倫理・プログラミング基礎が必修4単位)
- ・学科基盤科目(3科目すべて必修6単位)
- ・学科専門科目A群(必修と選択の違いを認識しておくこと。47単位以上必要)
- ・学科専門科目B群(4科目4単位のうち3単位以上が必要)
- ・学科専門科目C群(履修単位数を指定しない)

## 教職科目

・化学工学科では、中学と高校の理科の教員免許が修得できます。  
・教員免許の取得を希望する場合は、教職課程オリエンテーション(動画)において履修方法および注意事項等を説明していますので必ず視聴してください。**オリエンテーション終了後、希望者に資料を配布します。**

## 履修における注意事項

- ・実施形態[対面/遠隔等]、開催キャンパスに注意してください。
- ・連続した時限(昼休み含む)で、異なるキャンパスの対面授業を履修することはできません。
- ・抽選に当選した科目は取消・変更はできません。単位を修得しないとGPAに影響します。
- ・単位を修得できないと、次年度に他の科目と重複して再履修が困難な場合があります。

## 受 講 に つ い て の 注 意

### 【受講計画】

- ・ 授業の目標や概要を理解し、工学部要覧、シラバス、時間割表を調べ、自ら受講計画を立てること。安易な情報に惑わされないように。
- ・ 学生教育研究災害保険（学研災）未加入者は、実験・実習科目（ケミカルエンジニアリングプラクティス、化学工学実験1・2）を受講できません。

### 【受講態度】

- ・ 遅刻など、授業時間途中の入退室は控え、熱心に受講すること。
- ・ 授業に関係のない行動（私語、宿題や他の課題レポートの作成、スマホ操作など）は厳禁。大教室での授業は、特に自ら学ぶ姿勢が求められる。
- ・ 予習、復習は必ず行い、質問や討論には積極的に参加すること。
- ・ 宿題、課題レポートは必ず提出する。自分で積極的に課題を見つける訓練をすること。
- ・ 代理出席やレポートのコピー、試験中の**不正行為**を絶対にしないこと（**罰則あり**）。
- ・ 欠席する場合には、欠席届を担当教員に提出すること。化学工学科教員が担当する講義科目、演習科目では、**正当な理由なく6回欠席すると成績の評価から除外します**。ケミカルエンジニアリングプラクティスおよび化学工学実験1・2では**正当な理由なく1回欠席すると成績の評価から除外します**。なお、30分以内の遅刻は0.5回の欠席としてカウントし、30分以上の遅刻は1回の欠席としてカウントします。

### 【その他】

- ・ 授業振替日に注意すること。
- ・ 定期試験など、通常の授業と教室が変更されることがあるので注意すること。
- ・ 廊下、階段などでは、静粛な環境の維持に努めること。

### 3. 成績評語と GPA 制度・CAP 制 (工学部要覧 p. 10)

#### (1) 成績評語と GPA 制度

履修科目の成績は、下表の基準にもとづき評価され、発表は評語により行います。履修登録した各科目の成績に GP(Grade Point)を割り当てて、その平均を取ったものを GPA (Grade Point Average) といいます。学修の達成度を客観的に評価するための指標として学期ごとに算出され、卒業するために必要な単位をただ修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることが目的としています。

GPA は学期ごとに、以下の数式により算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該期で得た科目の GP 値} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{※当該期に履修登録した総単位数}}$$

※GPA 対象科目のみ

評語	基準	100 点方式による素点等	GP
AA	授業目標を大きく上回って達成できている	100 点以下 90 点以上	4
A	授業目標を上回って達成できている	90 点未満 80 点以上	3
B	授業目標を達成できている	80 点未満 70 点以上	2
C	最低限の授業目標を達成できている	70 点未満 60 点以上	1
F	最低限の授業目標を達成できていない	60 点未満または成績評価基準にもとづく評価をしない科目で不合格となった科目	0
T (取消)		試験等での不正行為	0
N (認定)		単位認定された科目	対象外
P (合格)		成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目	対象外

GPA の対象となる科目は、原則として履修登録した全ての科目です。ただし、卒業の所要単位に算入されない科目 (資格科目等の自由科目)、上表の「単位認定された科目」、「成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目」および特例科目 (卒業要件の所要単位に読み替えたもの) は GPA から除かれます。また、成績証明書には、発行した時点での通算 GPA が記載されます。GPA は奨学金対象者や成績優秀者を選出する際などに使用されます。

通算 GPA は、以下の数式により算出されます。

$$\text{通算 GPA} = \frac{(\text{各学期で得た科目の GP 値} \times \text{その単位数}) \text{の合計}}{\text{※各学期で履修登録した単位数の合計}}$$

※GPA 対象科目のみ

なお、履修登録の締め切り以降は、原則として変更はできません。ただし、以下に示す条件により履修を続けることが困難な場合、特別に履修中止を認める場合があります。

① 実際の授業の内容が公開されている「シラバス」と本質的に異なっている場合

② 授業についていけないだけの知識不足が発覚した場合

手続きの時期や方法など詳細については「履修登録の手引（学部・学域生用）」を確認してください。

## (2) CAP 制

学期内で履修する科目について予習・復習の時間を確保するために、各年度・各学期に履修登録できる総単位数には、上限が設けられています。このことを CAP 制（キャップ制）といいます。

工学部の履修単位数の上限は下表のように定められています。

通年科目の単位数を計算するときは、通年科目の単位数を開講学期数で割ってそれぞれの学期に振り分けされます。

年次	登録できる単位数		
	前期	後期	年間
1 年次	28 単位以下	28 単位以下	56 単位未満
2 年次～4 年次	25 単位以下	25 単位以下	50 単位未満

原則として、卒業の所要単位に算入されない科目（資格科目等の自由科目）および特例科目（卒業要件の所要単位に読み替えたもの）等は CAP 制の対象外となります。また、卒業要件の所要単位に算入される科目の中にも例外的に CAP 制の対象外となる科目もありますので、各学科の標準履修課程表の備考欄を確認してください。

また、ある期に優れた成績（学期の GPA が 2.70 以上）を修めた学生については、その次の期における履修登録の際に、上限を超えてさらに 6 単位の登録（31 単位以下）を認めます。

（CAP 上限緩和例）

● 1 年次前期に GPA が 2.70 以上の場合

1 年次後期に 34 単位以下、年間 62 単位未満の登録が可能

● 1 年次後期に GPA が 2.70 以上、かつ 2 年次前期で GPA が 2.70 以上の場合

2 年次前期に 31 単位以下、後期に 31 単位以下、年間 62 単位未満の登録が可能

## 4. 大学院への進学

- 通常、4 年次の夏（8 月下旬頃）、大学院の入学試験（筆記試験など）が実施される。
- 3 年次末までの成績が極めて優秀な者は、**筆記試験が免除**されることがある。
- 2 年次末までの成績が飛び抜けて優秀な者は、3 年次夏の大学院筆記試験に合格し、3 年次末までに必要な単位を取得した場合、3 年次末に**早期卒業**し、大学院に“飛び級”することができる。
- 大学院でも**修了年限の短縮**が可能。

## 5. 大学院博士後期課程への進学

- 博士後期課程学生へサポート体制 <これまでの実績などを含む>
  - 大阪公立大学研究奨励金  
原則、在学生全員を対象に授業料を研究奨励金として支給（上限年額 35 万円）
  - 大学フェロシップ創設事業・次世代研究者挑戦的研究プログラム  
いずれかの事業に採択されれば、授業料は実質無料
  - 大阪公立大学特別研究奨励金  
上記 2 件の事業対象外の学生に授業料を特別研究奨励金として支給（上限年額 20 万円）
  - 博士後期課程院生海外派遣支援事業（工学）  
海外での学会発表等出張学生（指導教員）に上限 15 万円補助
  - 「あおがき基金」博士前期課程院生海外派遣支援事業（工学）  
海外での学会に参加する博士前期課程学生に 2 万円補助
  - 英語プレゼンテーション研修（工学）  
国際学会で発表する学生に、ベルリッツ講師が英語プレゼンテーション等の個人指導
  - TECHNOVATION 奨励賞（工学） 優秀な学生に 2 万円贈呈
  - TOEIC 顕彰（工学） TOEIC800 点以上の学生に図書券 1 万円分贈呈
  - 学長顕彰（全学） 成績優秀者等への顕彰
  
- 博士後期課程学生への主な奨学金 <これまでの実績などを含む>
  - 日本学術振興会（JSPS）特別研究員事業  
年間生活費 240 万円と年間研究費 60～150 万円を支給
  - 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業（文部科学省）  
年間生活費 200 万円と年間研究費 30 万円を支給
  - 次世代研究者挑戦的研究プログラム（日本科学技術振興機構 JST）  
年間生活費 200 万円と年間研究費 20～79 万円  
国内外留学支援費（6 カ月カ月程度、最大 150 万円）  
長期インターンシップ支援（3 カ月程度）
  - 日本学生支援機構奨学金（貸与）  
第一種奨学金（毎月約 12.2 万円、利息無）  
在学中に優れた業績があれば、全学免除（約 1 割）・半額免除（約 2 割）  
第二種奨学金（毎月約 15 万円、利息有）
  - その他各種団体からの奨学金

## 6. 表彰関係

- 学科、分野内での表彰について
  - 卒業研究発表賞  
卒論発表会において優れた口頭発表を行った学部 4 年次生を表彰
  - M1 ポスター発表賞  
博士前期課程 1 年次の中間発表会において優れたポスター発表を行った学生を表彰
  - 修士研究発表賞  
修論発表会において優れた口頭発表を行った博士前期課程 2 年次生を表彰
  - 化工研究業績賞  
博士前期課程在学中に優れた研究業績（論文発表、学会発表、受賞）を挙げた博士前期課程 2 年次生を表彰

2026 年度入学生用 化学工学科 1 年次標準時間割 (例)

CAP28 単位

既に 17 単位 + 初ゼミ 1 単位 + 総合教養科目が 00 単位まで

前期 主キャンパス：森ノ宮

コマ	月	火	水	木	金
I					情報リテラシー
II	University English 1A		University English 1B	生物学 1	線形代数 1
III	微積分 1A				
IV	基礎無機・物理化学		化学工学序論		基礎化学実験
V					基礎化学実験

データエンジニアリング・AI 基礎 (CAP 制対象外)

工学研究の最先端 (集中講義) : 8/6,7,10 (CAP 制対象外)

後期 主キャンパス：森ノ宮

コマ	月	火	水	木	金
I	基礎有機化学	地球学入門	物理化学序論		基礎力学 B1
II	University English 2A		University English 2B	生物学 2	情報システム概論
III	健康・スポーツ科学概論		線形代数 2A		
IV	微積分 2		基礎物理学実験 1C		生物学実験 B
IV		健康・スポーツ科学演習	基礎物理学実験 1C		生物学実験 B

地球学実験 C : 集中講義

備考

ピンク=必修、緑=情報科目(選択必修)、オレンジ=健康・スポーツ科学科目(選択必修)

水色=基礎教育科目、赤い文字=選択だが重要な科目

白コマから初年次教育科目(必修)、総合教養科目を履修すること。

CAP 制(前期/後期で取得できる単位数の上限)に注意しながら受講申請すること。

## 2025 年度入学生用 化学工学科 2 年次標準時間割（例）

前期 主キャンパス：中百舌鳥

コマ	月	火	水	木	金
I	ベクトル解析◎	無機化学序論		基礎統計力学◇	University English 3B
	基礎電磁気学C◇				
II				化工物理化学	ケミカルエンジニアリングプラクティス
III		常微分方程式◎	基礎物理学演習◇		
IV		応用物理実験			化学工学量論
V		応用物理実験			化工分析化学

後期 主キャンパス：中百舌鳥

コマ	月	火	水	木	金
I		データベースと情報検索		化工有機化学	University English 3A
II	複素解析◎	移動速度論 1	拡散分離工学 1	化学工学熱力学	化学工学数学演習
III		反応工学 1	応用数学◎		基礎量子力学B◇
IV	確率統計◎ 森ノ宮	化学工学演習 1			生物学実験 A 森ノ宮
V					生物学実験 A 森ノ宮

備考

ピンク＝必修、青色＝専門科目（選択）、水色＝基礎教育科目、赤い文字＝選択だが重要な科目  
指定の数学系科目◎から 6 単位以上、指定の物理系科目◇から 2 単位以上を修得すること。

CAP 制（前期/後期で取得できる単位数の上限）に注意しながら受講申請すること。

## 2024 年度入学生用 化学工学科 3 年次標準時間割（例）

前期 主キャンパス：中百舌鳥

コマ	月	火	水	木	金
I	拡散分離工学 2	化学工学演習 2			
II				粉体工学 1	
III	移動速度論 2		化学工学実験 1	化学工学実験 1	反応工学 2
IV	プロセス 制御工学		化学工学実験 1	化学工学実験 1	
V			エンジニアのための キャリアデザイン		工学倫理

後期 主キャンパス：中百舌鳥

コマ	月	火	水	木	金
I	プロセス設計	エンジニアのための 経済学		プロセスシステム工学	化学装置設計
II	生物化学工学				
III	粉体工学 2		化学工学実験 2	化学工学実験 2	化学工学 特殊講義
IV	移動速度論 3		化学工学実験 2	化学工学実験 2	化学工学 特殊講義
V					環境倫理

備考

ピンク＝必修、青色＝専門科目（選択）、赤い文字＝選択だが重要な科目

CAP 制（前期/後期で取得できる単位数の上限）に注意しながら受講申請すること。

## Ⅶ. 学科委員・コンタクト教員制度等

### 1. 学科委員

学科長： 安田 昌弘  
居室：B5 棟 3 階 3C-62 室  
内線電話：5776  
直通電話：072-254-9299  
E-mail：m-yasuda@omu.ac.jp

副学科長： 齊藤 文靖  
居室：B5 棟 4 階 4B-39 室  
内線電話：5766  
直通電話：072-254-9303  
E-mail：tsaito@omu.ac.jp

教務委員： 仲村 英也  
居室：B5 棟 3 階 3C-74 室  
内線電話：5762  
直通電話：072-254-9451  
E-mail：hideyanakamura@omu.ac.jp

### 2. 学年担任（学生アドバイザー）

1 年次： 安田 昌弘  
居室：B5 棟 3 階 3C-62 室  
内線電話：5776  
直通電話：072-254-9299  
E-mail：m-yasuda@omu.ac.jp  
(4 年次は配属された研究室の教授、教授不在の研究室は学科長)

### 3. コンタクト教員制度

化学工学科には、皆さんがいつでも教員と相談できる「コンタクト教員制度」があります。学年担任以外に、皆さん一人一人に担当の先生が付きます。コンタクト教員への相談は、皆さんが必要とするとき、いつでもすることができます。また、必要に応じて、皆さんと面接するため、コンタクト教員から連絡することもあります。授業がわからないとき、単位の取得が思わしくないときなど、この制度を積極的に利用してください。

コンタクト教員	学籍番号 AJK260XX
野村 俊之	別紙で配布
岩崎 智宏	
綿野 哲	
荻野 博康	
齊藤 丈靖	
仲村 英也	
許 岩	
山本 卓也	
大崎 修司	
山田 亮祐	
松本 拓也	
岡本 尚樹	
堀江 孝史	

### 4. 化学工学科 教職員名簿

グループ名	職 階	名 前	直通電話	E-mail*	居室
微粒子工学	教授	野村 俊之	072-254-9300	tsnomura	B5 棟 4C-62
	准教授	山本 卓也	072-247-6064	takuya.yamamoto	B5 棟 4C-69
資源工学	教授	岩崎 智宏	072-254-9307	tomohiro.iwasaki	B5 棟 5B-40
装置工学	教授	綿野 哲	072-254-9305	watano	B5 棟 4B-44
	准教授	大崎 修司	072-254-9578	shuji.ohsaki	B5 棟 4B-37
反応工学	教授	荻野 博康	072-254-9296	ogino	B5 棟 4C-67
	准教授	山田 亮祐	072-254-9504	ryamada	B5 棟 4C-73
	准教授	松本 拓也	072-254-9815	t_matsumoto	B5 棟 4C-74
計算化学工学	教授	仲村 英也	072-254-9451	hideyanakamura	B5 棟 3C-74
材料プロセス工学	教授	齊藤 丈靖	072-254-9303	tsaito	B5 棟 4B-39
	准教授	岡本 尚樹	072-254-9814	w21056l	B5 棟 4B-40
環境・エネルギー プロセス工学	教授	安田 昌弘	072-254-9299	m-yasuda	B5 棟 3C-62
	准教授	堀江 孝史	072-254-9302	horie	B5 棟 3C-63
ナノ化学 システム工学	教授	許 岩	072-254-7813	xuy	C10 棟 319
化学工学 事務室	非常勤 事務職員	遠藤 聡子	072-254-9911	gr-eng-kakojimu	B5 棟 4B-31
		柳 奈央			

E-mail アドレスは\*\*\*\*@omu.ac.jp です。